

—10代のための図書館情報紙—

Teen's press

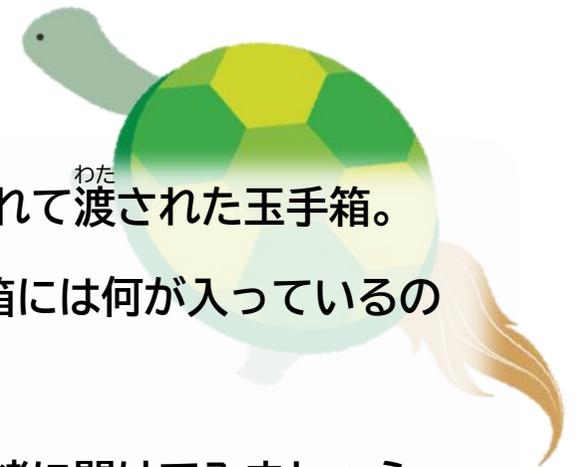
Vol.33
(2021.7)

【本の玉手箱】

うらしまたろう おとひめさま
浦島太郎が乙姫様から「絶対に開けてはいけない」と言われて渡された玉手箱。

昔は中に贈り物を入れて相手に送ったりもしたとか。玉手箱には何が入っているの
でしょうか……それは開けてからの楽しみ。

いままで知らなかった本と出会えるかも！本の玉手箱を一緒に開けてみましょう。



『怪談5分間の恐怖 つきまとう本』
中村まさみ／著 金の星社

人が亡くなる前に必ず現れる喪服の女（「喪服の女」）、どの部屋もすぐに引越してしまう友人の秘密（「引越し好きの男」）など、怪談師の著者が直接見聞きした話をまとめた怪談短編集。どの話も1話5分以内で読めます。

『何度でも、紙飛行機がとどくまで』
大城密／著 KADOKAWA

10年前、明良が飛ばした紙飛行機を千花がキャッチして、運命的な出会いをした2人。幸せな日々を送っていた2人でしたが、嵐の夜に交通事故にあい、明良が目覚めるとそこは千花と出会う10日前、高校生の姿に戻っていました。

『なぜ僕らは働くのか』
池上彰／監修 学研プラス

中学2年生の隼人は、職場体験で書店を選びましたが、自分が働く未来が遠いことに感じて想像ができません。優ねえちゃんにそのことを話すと……。

「働くこと」について、マンガと文章で分かりやすく解説します。

『声をきかせて』
樫崎茜／著 講談社

小学校時代にタイムカプセルと一緒に埋めた砂皿、珠季、蒼太、悠介は、中学生になり昔埋めたタイムカプセルを掘り起こそうと幽霊屋敷に忍びこみました。しかし、そこで幽霊屋敷の元住人“死神じい”に見つかってしまい……。

『10分で読めるオリンピック
・パラリンピック物語 1 世界の頂点』
大野益弘／編著、美甘玲美／ほか執筆 あかね書房

世界の頂点を極めた羽生結弦や北島康介などの選手たちは、どのような気持ちでオリンピックやパラリンピックの舞台に挑んだのでしょうか。感動オリンピックノンフィクションシリーズ。

『わたしの気になるあの子』
朝比奈蓉子／作、水元さきの／絵 ポプラ社

ある日、クラスメイトの詩音が坊主頭で学校に登校してきて、みんなから「女の子が坊主なんてヘン」と冷たい目で見られてしまいます。瑠美奈は、詩音のことを助けようとはしますが、詩音から「ありがとう、でもほっといて」と言われてしまいます。

『13歳からの世界征服』

中田考／著 百万年書房

「勉強して将来に役立つことって何ですか？」「容姿にコンプレックスがあります」など、中高生の悩みや疑問に、イスラーム法学者の中田先生が一神教であるイスラームの視点から答えます。

『にげてさがして』

ヨシタケシンスケ／著 赤ちゃんとママ社

世の中にはひどいことを言ったり、したりする人がいる。そういう人に出会ったら逃げて自分を守ってくれる人を探そう。きみの足は逃げるため探すためについているんだ。すべての人へ送る絵本。

『からだ事件簿 楽しくわかる!体のしくみ』

坂井建雄／監修, 徳永明子／イラスト ダイアモンド社

「覚えた漢字をテストで忘れる」「緊張すると心臓がドキドキする」のはなぜ？
それは、体の中でいろいろなことが起きているから！体の中で起こる不思議な事件を「からだ探偵」が調査します。



やさしくよみやすい本

LLブック

中央図書館・児童室に LL ブックコーナーができました。

ぜひご覧ください。

LLブックってなんですか？

「LL」とは、スウェーデン語の「れっとうれすとLattLast」(わかりやすく読みやすい)の略です。文字を読んだり、内容を理解したりすることが苦手な人でも読みやすいように、絵や写真が多く、やさしい文章でかかれた本です。

『仕事に行ってきます 1』

クッキーづくりの仕事』

埼玉福祉会

ひろみ洋美さんは、クッキー工場で働いています。朝、工場に着くと、作業着に着がえて……。知的・身体・精神など障害のある人の働く姿を通して働くことの楽しさを伝えてくれる本。

『ぼくと目の見えない』

内田さんがであったはなし』

赤木かん子／著, 濱口瑛士／絵, 埼玉福祉会

高校生が自動販売機の前で出会ったのは、目の見えない内田さん。高校生は内田さんに、視覚障害者が困っている時になんて言えばいいのかを聞きました。すると内田さんは……。

課題図書を読もう！



第67回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛／サントリーホールディングス株式会社

『水を縫う』

寺地はるな／著 集英社

祖母、母、姉と暮らす男子高校生の清澄は刺繍が好き。結婚をひかえた姉の水青のために望むウエディングドレスを縫おうとしますが……。

登場人物6人の視点で、世の中の普通に対する疑問を描いた家族小説。



『牧野富太郎 日本植物学の父』

清水洋美／文, 里見和彦／絵 汐文社



まきのとみたるう
牧野富太郎は、小学2年生で学校を中退、本を読んで植物の勉強をしました。いろいろな人に支えられながら、植物採集や写生、研究を続け「日本植物学の父」と呼ばれた牧野富太郎の94年にわたる人生を紹介します。



『アーニャは、きっと来る』

マイケル・モーパーゴ／作, 佐藤見果夢／訳 評論社



第二次世界大戦中のフランスの山間部。12歳の少年ジョーは、戦争に行った父に代わって、ヒツジの世話をしています。ある日、山の中で見知らぬ人に出会い、ユダヤ人の子ども12人の国境越えを手助けすることに……。2020年に映画化。

掲載された本の問い合わせは中央図書館へ

【村上市立中央図書館】
図書館ホームページ

村上市田端町4-25（教育情報センター内） TEL：0254-53-7511
<https://www.lib-murakami.jp>

身近な図書館・図書室でも借りることができます！

【村上市立朝日図書館】 TEL：0254-72-6700
（総合文化会館内） 村上市岩沢 5668

【村上市立荒川図書室】 TEL：0254-62-3050
（荒川地区公民館内） 村上市羽ヶ榎 104-25

【村上市立神林図書室】 TEL：0254-60-1500
（神林農村環境改善センター内） 村上市岩船駅前 63

【村上市立山北図書室】 TEL：0254-77-3798
（さんぽく会館内） 村上市府屋 177-1